

なかしま 命

柳川市立中島小学校 校長 山田 信子

12月1日の全校朝会でお話したことを紹介させていただきます。

二編の詩から『人権』について考えよう

○今月は「人権月間」です。「なかしま命」で言えば、「な…なかよくする子」についてしっかり考え行動する「仲よし月間」です。では、仲よくするために大切な「人権」とは何でしょうか。それは、「人はだれでも幸せに生きることができるということ」「自分も相手もみんなが幸せになること」です。

○今から2編の詩を紹介します。最初に紹介する詩は、金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」という詩です。

「わたしと小鳥と鈴と」 金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、地面（じべた）をはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

○金子みすゞさんは、この詩の中で、「すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」と伝えています。いま、世界には75億人を超える人々が暮らしています。その一人一人はみんな違って、話す言葉や住んでいる場所、見た目の違いだけでなく、性格や考えていることなど。でも、違っていても当たり前のことです。違うから素敵なのです。大切なのは、お互いの違いを受けとめ、良さや頑張りを認めること。これが人権を守ることです。

○次の詩を紹介します。柳川の詩人北原白秋先生の詩です。

「ひとつのことば」 北原白秋

ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	なかなかおり
ひとつのことばで	頭が下がり	ひとつのことばで	心が痛む
ひとつのことばで	楽しく笑い	ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに	ひとつのころを	持っている
きれいなことばは	きれいな心	やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に	ひとつのことばを	美しく

○どうですか。たった1つの言葉で、相手の心がそして自分の心が変われるのです。ひとつの「ぽかぽか言葉」は、人を温かく幸せにします。ひとつの「ちくちく言葉」は、人を悲しませます。言葉や行動で人を傷つけるようなことはあってはならないのです。一人一人違う、違って当たり前の私たちが仲よくするために大切なのはどんなことなのか、その時その時にどんな言葉を使えばいいのか、どんな行動をとればいいのか、クラスの友だちと、お家の方と、そして先生達も含めて中島っ子みんなでしっかり考え、行動していきましょう。そうすれば、今よりもっと笑顔が溢れ、みんなが楽しいと思える中島小学校になります。

ぽかぽか貯金への声かけもよろしくお願いします。
(健康チェックカードの右側)



校内マラソン大会 自分との勝負

12月4日土曜日冬空のもと、「校内マラソン大会」を実施しました。
 12月2日の試走の日に、体育のめあてを伝えました。低学年は「最後までがんばって走る」、中学年は「最後まであきらめずに走る」、高学年は「自己の最善（自己ベスト）をつくって走る」。

そして、マラソン大会当日。各学年のめあてをしっかりと意識し、あきらめずに最善を尽くし、頑張る姿がありました。なかしまっ子一人一人が自分と勝負する姿はとても輝いていました。

自分との勝負とは、「今までの自分のタイムとの勝負」「途中で歩いてしまう自分との勝負」「最後はきつくてあきらめてしまう自分との勝負」などです。振り返りでは、「順位は下がったけど、あきらめないで走りました」など、自分の思いを全校児童に伝える姿が見られました。まさに「学びをつなぐ」姿でした。中島っ子のお陰で、寒い中でも熱いマラソン大会となりました。

最後になりましたが、保護者の皆様と地域の皆様の温かいご声援と参観へのご協力に心より感謝します。



【低学年女子 800m】



【中学年女子 1260m】



【高学年女子 1720m】



【低学年男子 800m】



【中学年男子 1260m】



【高学年男子 1720m】

「人の命」を救った 中島っ子たち

「なかしま命」の命を守るために、自分たちで考え行動した中島っ子をご紹介します。



11月27日（土）の昼過ぎに、遊びに向かっていた子ども達が、浦島橋の近くで、自転車で倒れていた1人のおじいさんを見つけたことから始まりました。

子ども達は、まずおじいさんに「大丈夫ですか。」と声をかけました。次に、きつそうなおじいさんの様子を見て、自分のお金でお店に行って水を買ひ、おじいさんに渡したそうです。すると、おじいさんから「足が痛いので救急車を呼んで欲しい」と頼まれ、携帯電話を持っていた子どもが、すぐに「119」に連絡。おじいさんは無事に救急搬送されたということです。その後、残されたおじいさんの自転車を自宅まで運んでくれたのもこの子ども達です。みなさん、このような行動ができた中島っ子をどう思いますか。

困っている人を見つけた時に、知らん顔せずに優しく声をかけたこと。そして、日頃の家庭や学校での学びとつないで、今できることを一生懸命考え行動できたこと。さらに、五年生は前日の授業参観で「救急救命講習」を受けていたので、その学びもつなげることができたこと。このような行動ができた中島っ子を誇りに思い、全校放送で紹介しました。

後日、柳川消防本部からも「感謝していることを伝えて欲しい」との電話がありました。
12月は人権月間。心が温まり、みんなが幸せな気持ちになれました。中島っ子たち、ありがとう！

5年生 かいとさん・ゆうりさん
4年生 あらたさん・ふくさん
3年生 ゆうとさん
2年生 きっぺいさん・かいとさん

